

肝細胞がんレジメン

サイラムザ療法

テセントリク+アバスチン療法

### レジメン名

サイラムザ療法

インターバル： 14 日

## ● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

醫師名

身長

cm

## 体重

kg

体表面積

m2

## ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	サイラムザ	8mg/kg

## 医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

## 適応条件

血清AFP値が400pg/mL以上

## ● 投与スケジュール

### レジメン名

## テセントリク+アバスチン療法

インターバル： 21 日

## 医師コメント

薬剤師コメント

### 看護師コメント

## ● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

醫師名

身長

cm

体重

kg

体表面積

m2

### ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	テセントリク	1200mg
	点滴静脈内(速度)	アバスチン	15mg/kg

レジメン説明

催吐性リスク：軽度

テセントリクは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能

(2回目：60分、3回目以降：30分)

アバズチンは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能

(2回目：60分、3回目以降：30分)

適応条件

### ● 投与スケジュール

所要時間 160分

次クールへ